

重化学工業品が90%を占める

輸出品出荷額

— 昭和47年工業実態調査結果から —

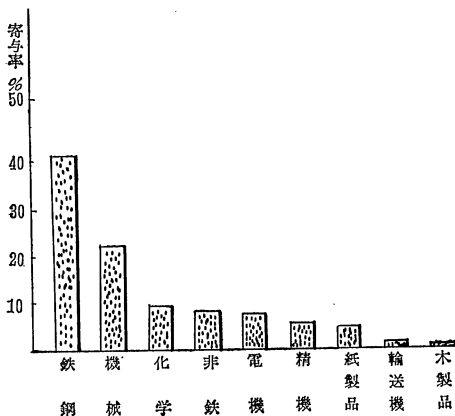
商工統計係

1 輸出の概況

昭和47年12末日現在における本県の輸出品出荷額は1,363億2,800万円である。前回調査（昭和44年12末日現在従業者10人以上の事業所）における輸出品出荷額657億9,700万円と今回調査（従業者10以上の事業所）の1,359億6,900万円を比較すると2.07倍の伸びとなった。しかし輸出品製造事業所数では129事業所（従業者10以上の事業所）で前回調査の126事業所に比べて3事業所多くなっただけであった。同じく従業者数を比べると66,999人で前回の60,001人に比し1.12倍の伸びとなっている。なお昭和47年輸出品出荷額1,363億2,800万円は輸出品生産事業所における製造品出荷額8,208億6,449万円の16.6%にあたるものである。

1事業所当たりの輸出品出荷額は8億4,153万円となり従業者数は415人となっている。

第1図 輸出額増加寄与率（昭47:昭44）

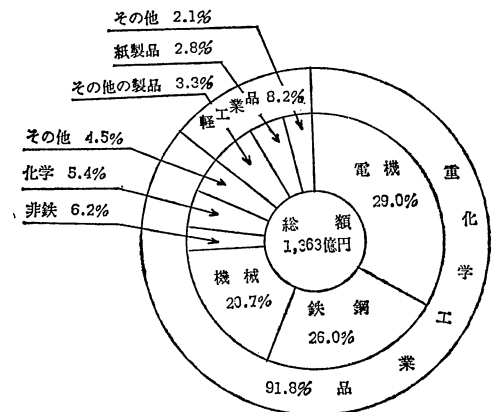


2 商品別動向

輸出品出荷額を軽工業品と重化学工業品とに分けて比較すると重化学工業品が1,256億5,294万円で91.8%を占め、軽工業品は106億7,506万円と全体の8.2%にすぎない。

産業中分類別にみると、重化学工業品では電気機械器具395億4,800万円と全体の29.0%を占め主に米国、ヨーロッパ、カナダ、東南アジア等へ、ついで鉄鋼が354億9,900万円と26.0%を占め主に米国、中国、中南米等へ、一般機械器具が281億8,600万円と20.7%を占め主に米国、東南アジア、アフリカ等へそれぞれ出荷されている。一方、軽工業品ではその他の製品が44億9,500万円と3.3%を占め主に米国、東南アジア、ヨーロッパ等へ、紙製品が37億8,400万円と2.8%を占め主にオセアニア、東南アジア、カナダ等へ出荷されている。

第2図 産業中分類別輸出品出荷額



る。

3 仕向地域動向

輸出品出荷額を仕向地域別にみると、米国が541億6,300万円で全体の39.7%を占め主な産業は電気機械、一般機械、鉄鋼等である。ついで東南アジアが144億1,500万円で、10.6%を占め主な産業は、一般機械、化学、非鉄金属等、ヨーロッパが79億4,000万円5.8%を占め主な産業は電気機械、化学、その他の製品、精密機械等である。ついでカナダが30億2,800万円、22%を占め主な産業は電気機械、紙製品、一般機械、輸送機械等、オセアニアが28億6,700万円2.1%を占め主な産業は紙製品、電気機械、非鉄金属、一般機械等が主力として出荷されている。

4 規模別構成

規模別に輸出品出荷額をみると、1,000人以上の事業所が最も多額で1,000億6,100万円で全体の73.4%を占め、主に鉄鋼、電気機械、一般機械、非鉄金属等の産業から出荷されている。ついで500~999人の事業所

では化学、一般機械、非鉄金属、紙製品等が多く、100~199人が電気機械、化学、輸送機等、300~499人が鉄鋼、化学、木材等、200~299人が電気機械、その他の製品、一般機械等、50~99人が精密機械、食料品、電気機械、化学等、30~49人が電気機械、その他の製品、金属製品等、20~29人が電気機械、その他の製品、化学、衣服等、4~9人がその他の製品、ゴム製品、電気機械等、10~19人が電気機械、その他の製品等、1~3人が窯業土石、その他の製品、などとなっている。

5 地域別構成

地域別に輸出品出荷額をみると県北地域が最も多く738億7,200万円で全体の54.2%を占め主に電気機械、一般機械、非鉄金属等が出荷されている。次いで鹿行地域が419億9,000万円で同じく30.8%を占め、主な商品は鉄鋼、化学、電気機械、県南地域が129億1,200万円で、同じく9.5%を占め、電気機械、一般機械、非鉄金属等、県西地域が75億5,300万円で同じく5.5%を占め電気機械、その他の製品、輸送機械等がそれぞれ輸出されている。

地域別事業所数，従業者数，輸出品出荷額等

地域別	事業所数	構成比 %	従業者数	構成比 %	輸出品出荷額 (万円)	構成比 %
総数	162	100.0	67,229	100.0	13,632,800	100.0
県北	63	38.9	47,222	70.2	7,387,175	54.2
県南	47	29.0	8,068	12.0	1,291,257	9.5
県西	36	22.2	5,357	8.0	755,334	5.5
鹿行	16	9.9	6,582	9.8	4,199,034	30.8